

9/19 (火) ジュニアオリンピック出場

「第48回ジュニアオリンピック陸上競技大会」の出場を決めた片岡中2年・中郷成生さん(砲丸投げ)と、矢板中1年・福田蒼依さん(走り幅跳び・リレー)が市長を表敬訪問しました。2人は選考会などの大会で好成績を収め、将来のオリンピック選手育成を目的として開催される本大会の参加資格を獲得しました。

市長からは「いろいろな経験を積むことはよいことだと思う。初めての会場でも緊張せずに日頃の力を発揮してきてほしい」とエールが送られました。



▲(右から)
・福田蒼依さん
・中郷成生さん

9/22 (金) 自転車で交通安全PR

「秋の交通安全市民総ぐるみ運動」の一環で、交通事故防止やマナー向上など、交通安全の啓発を目的に、自転車による交通安全パレードを実施しました。特に小中学校前の沿道では、パレードを見た子どもたちから、大きな歓声が上がると、交通安全啓発に自転車が役買うことになりました。

パレード終了後には、本活動に協力していただいた宇都宮ブリッツェン・那須ブラーゼンに対して、本村矢板警察署長から感謝状が贈られました。



▲(右から)
・本村矢板警察署長
・宇都宮ブリッツェン
鈴木選手・広瀬 GM
・那須ブラーゼン
若杉社長・前田会長
・齋藤市長

9/24 (日) PGA シニアツアー

22日(金)から3日間、矢板カントリークラブで「アルファクラブCUPシニアオープン2017」が開催されました。23日(土)には、「市民フェスタ」と題し、ギャラリープラザの特設ステージで市内の各種団体がフラダンスやアフリカンダンスなどを披露し、観戦に訪れた多くのギャラリーを楽しませました。

表彰式では、連覇を果たした室田淳プロに優勝カップが渡され、また、アルファクラブグループの神田会長よりチャリティの収益金が、県と市に寄付されました。



▲神田会長(右)より寄付を受け取る齋藤市長(中央)

9/29 (金) 国体で4位入賞

「第72回国民体育大会愛媛大会」の公開競技であるグラウンド・ゴルフに県代表として出場し、入賞を果たした佐藤孝子さんが市長を表敬訪問しました。国体では、主に正式競技と公開競技が行われており、公開競技は競技の普及およびスポーツ振興の観点から行われています。

佐藤さんは、県グラウンド・ゴルフ協会主催の選考会で好成績を収め、代表チームに選出されました。9月16日(土)・17日(日)、松山市で団体戦・個人戦が開催され、個人戦において見事女子4位となりました。



9/30 (土) 蔵に灯るキャンドル

矢板武記念館で、「蔵 DE Night!!2017」が開催されました。このイベントは、矢板武塾の卒塾生を中心としたまちづくり団体「蔵*武 Project」が矢板武記念館にある2つの蔵を、人が集まり文化が交わる場所へと再生し、魅力ある場所を作ることを目的に開催しているものです。

当日は、蔵の中で映画会や朗読会、演奏会などが行われました。また、庭園に並ぶ数多くのキャンドルが創り出す幻想的な景色を、来場した皆さんは楽しんでいるようでした。



10/5 (木) ゼンリンと地図供給協定

市役所で、「災害時における地図製品等の供給等に関する協定」の調印式が行われました。この協定は、市民生活における防災力の向上を目的に結ばれたもので、平時からインターネット版の住宅地図を活用した防災の取り組みが行えるほか、災害発生時に不足することが懸念される最新版の住宅地図が備蓄されることになりました。

市長からは「災害発生時には、被災状況調査などの多くの業務で地図が必要になる。協定により迅速な災害対応につなげることができる」との話がありました。



▲(右から)
・(株)ゼンリン関東エリア
統括部 園田統括部長
・齋藤市長
◀備蓄される災害対応用
住宅地図

10/14 (土) 秋の夜空に大輪の花！つつじの郷やいた花火大会

道の駅やいた周辺で、「つつじの郷やいた花火大会2017」が開催されました。この大会は、「矢板を盛り上げよう」と市民有志が始めたもので、今回で11回目を迎え、すっかり矢板の秋の風物詩となりました。

当日は、生涯学習館前の特設ステージで各団体が演奏などを披露したほか、昨年に引き続き、仮装大会「やいた de ハロウィン」が開催されるなど、にぎわいをみせました。花火大会では、メッセージ花火など色とりどりの花火約1万発が打ち上げられ、会場を訪れた約4万人の観衆の目を楽しませました。

